

留 学 報 告 書

記入日:2019年10月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部 商学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 現地言語: University of California, Los Angeles
留学期間	2019年6月～2019年9月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年9月15日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～12月中旬 2学期:1月～3月中旬 3学期:3月下旬～6月中旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	45,000
創立年	1919

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	6,470.00	767,750円	手数料込み
宿舍費	4,479.84	509,909円	手数料込み
食費	311.08	33,715円	
図書費		円	
学用品費	57.36	6,217円	
教養娯楽費	988.51	107,135円	
被服費	272.22	29,504円	
医療費		円	
保険費		27,215円	形態:
渡航旅費		151,720円	
雑費	128.34	13,910円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	12,707.35	1,647,075円	

渡航関連

渡航経路:NRT-LAX

渡航費用

チケットの種類	往復航空券
往路	75,860 円
復路	75,860 円
合計	151,720 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Expedia, JTB

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 3 人)

3)住居を探した方法:

大学の Housing の Web サイト

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮のベッドには、薄いブランケット一枚しかなく、もしかしたら寒いと感じるかもしれないので、厚めの部屋着を持っていくと安心かなと思います。

また、meal plan に関しては、週に 11 回、15 回、21 回と 3 つのプランから選ぶことができますが、11 回で十分だと思いました。利用できるダイニングホールは 3 つと限られていて、途中から飽きてしまう可能性もありますし、westwood には meal plan 一回あたりよりも安くで食べられるお店があります。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会がなかった 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特に問題がありませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットで調べたり、友達と情報共有したりして、情報収集しました。貴重品は肌身離さず持つことを心がけ、危険な地域には極力行かないように気を付けました。

犯罪には巻き込まれませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内は Wi-Fi 接続が可能で、SIM カードを入手するまで問題なく Wi-Fi だけで生活することができました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを利用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

現地には Daiso もあるので、どうしても欲しい場合は、日本系統のお店で買えると思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に親のクレジットを借りて払いました。

卒業後の進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
特に参考にしたものはありませんが、大学でマーケティングなどを学んでいる中で、進学するよりは学んだことを実際に活かせる就職の方が自分にはあっているのではないかと思います。	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	
システムエンジニア	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)	
留学をし、様々な文化や考え方に触れたことにより、将来は様々な国の人と一緒に仕事をしたいと思いました。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
17 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Communication 1A-Public Speaking for Nonnative Speakers	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	6/24-8/2
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 125 分が 2 回
担当教授	Negrete, H.E.
授業内容	大きく分けて異なるタイプのスピーチを3つ行いました。1つ目のスピーチは即興で行うもの、2つ目のスピーチは自分の意見を伝えるもの、3つ目のスピーチは聴き手を納得させるものでした。各スピーチを行う前にスピーチの構成やどのようなことを気を付けるべきかについての講義があります。また、これらのスピーチに加えて、5, 6 人のグループに分かれて、授業時間外にディスカッションをし、そのレコードと内容をまとめたペーパーを提出するという課題がありました。
試験・課題など	3 回のスピーチ、スピーチの振り返り、グループディスカッション
感想を自由記入	Nonnative 向けの授業なので、全員英語圏以外の人だったのですが、様々な国の人がこの授業をとっており、様々な国の文化を知るにはとてもいい授業だと思いました。ネイティブスピーカーがいないことが、逆に英語を使ってコミュニケーションをとる抵抗感をなくなったので、session A であって良かったと思います。基本的にスピーチのトピックは自由なので、それぞれが話したい話題を選ぶのですが、その話題に対しての考え方やその話題自体が新鮮で、自分の視野が広がったように思います。また、私は大勢の前で発表することが苦手だったのですが、どのように緊張をほぐせばいいかを学ぶことができたので良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sociology 1-Introductory Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	6/24-8/2
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 125 分が 2 回
担当教授	Diossa Jimenez, L.
授業内容	社会学の基本的なものの捉え方を学ぶことのできる授業です。授業の予習として社会学の基礎的な考え方をインプットするために、リーディングが課されます。トピックとしては、社会学的想像、アイデンティティ、ジェンダー、民族と人種、社会的つながり、組織など幅広いことを社会学的な観点から学びます。リーディングの内容をもとに授業はすすめられますが、それに加えてドキュメンタリーや動画、映画など様々な題材が用意されており、それらを通してどのように現実に起こっている問題を捉えていくかを考えます。
試験・課題など	課題:リーディング 中間試験(選択形式、記述) 期末試験(選択形式、記述)
感想を自由記入	明治大学で1年生の時に社会学を履修し、興味を持ったことをきっかけにこの授業をとりました。特にジェンダーと民族・人種の部分は、日本とは考え方が大きく異なると感じました。また、基礎的な社会学のものの方から講義が始まったので、とても理解しやすかったです。わからないところがあっても、オフィスアワーで教授が様々な例示を用いてわかりやすく教えてくださいました。また、民族・人種のトピックのときは現在、世界で起こっている移民問題をそれぞれの地域に分けて考え、どのように捉えるかというような現実の問題ともリンクしており、とても面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Communication 156-Social Networking	ソーシャルネットワーキング
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	8/5-9/13
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 125 分が 2 回
担当教授	Peterson, S.M.
授業内容	Facebook, Instagram, My Space, LinkedIn, WhatsApp などのソーシャルネットワーキングサイト(SNS)がどのような使われ方をしており、どのような影響を私たち自身や生活に与えているのかを学びます。SNS の影響は多岐にわたるので様々なテーマを扱いますが、例えば、マーケティングへの応用や思想の広がり方、人間的悪影響、インフルエンサーなどがあげられます。また、それに加え社会学的な視点から人と人との結びつきを考えます。ソーシャルネットワーキングアナリシスという人と人との結びつきを分析するやり方を学びます。
試験・課題など	課題:レポート2つ、グループプロジェクト、リーディング 中間試験(選択形式) 期末試験(選択形式)
感想を自由記入	レポート、グループの課題、試験と大変な授業ですが、身近なものである SNS を題材としたこの授業はとても興味深いものでした。特に、Diffusion theory で学んだどのように新しい考えやアイデアが広まっていくかに関しては、マーケティングと深く関係があり面白かったです。2つあるレポートの内の1つはソーシャルネットワーキングアナリシスといって、自分の周りにあるソーシャルネットワークを分析するという課題で、ただ講義を受けているだけではなく、学んだことを実際に自分のネットワークに当てはめたので、より実践的に学べたと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English as a Second Language 26-Business Communication: Speaking	ビジネスコミュニケーション:スピーキング
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	8/5-9/13
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Hardacre de Cerque Kelley, J.C.
授業内容	ビジネスというフォーマルな場面でどのように振舞うか、どのようにプレゼンテーションを行うのかを学ぶ授業です。ESL というのもあって、発音やイントネーションなどを教授が細かく直してくれたり、フォーマルな場のプレゼンテーションで使えるイディオムやグラフを説明するフレーズなどを学ぶことができます。また、ケーススタディを用いてビジネスの場を想定したグループディスカッションがあったり、2 人組で新しい商品を開発し、その商品やビジネスモデルについてのプレゼンテーションをしたりと実践的な内容も学ぶことができます。
試験・課題など	3 つのプレゼンテーション、プレゼンテーションの振り返り、週ごとの課題、ケーススタディ
感想を自由記入	ビジネスの場で使えるフレーズやイディオムなどを学ぶことができたので、将来の役に立つ授業だと思いました。プレゼンテーションにおいて、どのように大事な部分を強調するか、トピックを移していくかなどのスキルを多く学べたことも良かったと思います。また、教授と生徒からプレゼンテーションのフィードバックを 1 回 1 回もらえたことも、自分のプレゼンテーションは何が弱点なのかを分析することにとっても役立ちました。ケーススタディに関しては、ゼミでやっていましたが、英語で行うのはとても難しかったです。どのように自分の意見を相手に伝えるのか、どのように 1 つの結論を出すかなど悩みましたが、次第に論理的に説明できるようになったので良かったです。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	3月： TOEIC の勉強を始める。
4月～7月	4月： 明治大学入学
8月～9月	
10月～12月	10月： カリフォルニア大学サマーセッションの説明会に参加 ロサンゼルス校に留学するためには、公式の TOEIC のテストが必要と知り、公式テストを受験する 12月： 出願
2019年 1月～3月	1月： 選考→決定 2月： MyUCLA 作成 3月： 授業料振り込みなどの手続き
4月～7月	4月： パスポート取得、寮の手続き 6月： サマーセッション開始
8月～9月	9月： サマーセッション終了
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>語学力を高めたいからという理由もあったのですが、一番の理由としては自分自身に自信をつけたいと思ったからです。私は今まで東京以外の場所で生活したことや親もとを離れて生活したことがなく、このまま大学生活を送って、社会人になっても上手くやっていける自信がありませんでした。言語も文化も全く異なる場所で生活を送ることで、何かをやり遂げることができるという自信、自分で行動を起こせるという自信を持つことができると思いました。</p> <p>また、視野を広めたいと思ったことも理由の一つです。大学1年生のときに留学生の子と知り合い、文化の違いや考え方の違いを知りました。いかに自分の視野が狭いかを体感したので、留学して知見を広め、自分自身の考え方を柔軟にしたいと思いました。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>やはり一番に準備しておくべきだったのは、語学力だと思います。もちろん、留学前にも継続的に英語の勉強に取り組むようにしていましたが、心のどこかで現地に行けばどうにかならうという気持ちがありました。日本にいと英語学習のモチベーションを持続させるのはなかなか難しいと思いますが、現地については多くの課題があり、英語の勉強する時間を確保するのはもっと難しいと思います。日本にいううちにできるだけ英語に触れる時間をとり、英語に慣れておくことと現地の授業にもある程度、最初からついていけると思っています。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>私は最初に、どれくらいの期間留学したいのかという部分から絞り込みました。今まで留学したことがなかったので、1年間の長期留学するのは自分にとってはハードルが高かったですし、1か月では短すぎるのではないかと感じたので、3か月間であるサマーセッションを選択しました。また、せっかく留学するのならば、世界のトップユニバーシティで学んでみたいという気持ちもありました。ロサンゼルス校を選んだ理由ですが、ロサンゼルスには多種多様な文化が存在しているため、色々な文化に触れやすいのではないかと考えました。また、もともと音楽や絵画など芸術が好きで、ロサンゼルスにある芸術を知りたいと思い、ロサンゼルス校に決定しました。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>大学の雰囲気は一言で言うと、「自由」だと思います。大学の建物は美しく、歴史があるものが多かったように思います。キャンパスは広大で、学生は思い思いの場所で勉強したり、キャンパス内にあるピアノを弾いたり自由に過ごしていました。中にはキャンパスの外にあるテーブルなどを使って、香港の現状を広めている学生の人もいました。学生の雰囲気ですが、とても積極的で賑やかだと思いました。授業中は、積極的な発言、意見交換をします。また、優しい人が多く、英語でうまく表現できないときでも、急かさずに待っていてくれたり、こういう意味?と聞いてくれたりしました。</p>
寮の雰囲気	<p>私は rieber hall の7階の部屋で過ごしていましたが、7階は現地生が多く、留学生が少ない階でした。階ごとに寮監のような代表の人が決まっており、何か困ったことがあればその人に言う、または寮のフロントデスクに言う形でした。7階に住んでいる学生全員が集まったのは入寮直後のみで、パーティやゲームなど、学生が交流する活動は寮では行われていませんでした。ですが、同じ階の中で顔見知りになって、色々話したり、部屋の前のホワイトボードと一緒に落書きしたりと、楽しい雰囲気だと思います。</p>
交友関係	<p>留学した当初は、まず英語を話すということに慣れておらず、なかなか自分から話しかけることができませんでした。特に現地生の友達を作ることができていませんでした。ですが、せっかく UCLA に留学に来ていて、現地の人と交流しないのはもったいないと感じました。そんな時に、UCSS の準備講座の教授が言っていた UCLA で行われている日本語の授業の教授にコンタクトをとってみるといいという言葉思い出しました。実際に、教授にコンタクトをとるのは、とても緊張しましたが、結果的に親友を作ることができました。ホームパーティに呼んでもらったり、ご飯に誘ってもらったり、リトルキーヨーに遊びに行ったりと楽しく過ごすことができました。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>私が泊まっていた部屋だけかもしれませんが、ゴキブリや小さい虫が多かったです。ペストコントロールの業者の人に来てもらってからは良くなりましたが、虫が苦手なので困りました。同じく部屋のことですが、3人部屋で3つ勉強机があり、そのうちの1つの机の近くにコンセントが1つもなく、パソコンの充電や机のライトを繋ぐ場所がなくて困りました。また、隣の部屋に泊まっていた人が結構な頻度で、大きな声で歌を歌っていて、驚きました。</p> <p>食堂についてですが、session C の途中から、3つ使える食堂のうち2つが閉まってしまい、結果的に1つしか使えなかったのが大変でした。</p>

<p>学習内容・勉強について</p>	<p>特に決まった学問を専攻したわけではありません。授業にもよりますが、基本的にリーディングの課題の量がとても多く、次の授業までになかなか終わるのが難しかったです。ですが、予習していないと、授業内容を理解するのが難しかったので、全部読むことではなくて、一通りの内容を理解して授業に臨むようにしていました。授業中は、意見交換が多く行われ、自分の考えがうまく伝わらないこともあり、落ち込むこともありましたが、クラスメイトがフォローしてくれたり、次第にディスカッションに慣れていくことができたと思います。授業後は、すぐにその授業の復習をするように心がけました。わからないところはノートにまとめおき、オフィスパワーでその授業の教授に直接聞きに行っていました。何回もオフィスパワーに行っていたこともあり、教授に顔と名前を覚えてもらえました。一番大切なことは、諦めずに勉強し、わからないところをそのままにしないことだと感じました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>課題の量は、日本の大学に比べて膨大でした。リーディングの課題は毎回あり、それに加えて、プレゼンテーションがあったり、レポート・エッセイがあったりと、2つの授業で課題が重なってしまった時は、寝る時間がありませんでした。私はリーディングの速度が遅いこともあり、睡眠時間が3時間くらいの時も続きました。正直、とてもつらかったですが、やれるところまでやろうという気持ちで頑張りました。</p> <p>試験についてですが、落とすための試験ではなく、どれだけ理解しているかを確認するテストだったので、勉強した成果が出る試験でした。一生懸命勉強した成果が実り、社会学の中間テストで満点を取ることができたときは、嬉しかったですし、自信になりました。また、試験がプレゼンテーションの授業では、教授から効果的なフィードバックをもらうことができ、自分の苦手な部分を認識することができたので良かったです。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>3か月だけだったので、特別に何かに参加したというわけではありません。ですが、現地生の友達に誘われて、ダンスチームの練習に一度だけ参加しました。私が参加したダンスチームは各学期ごとにメンバーを集めて練習を行っており、運営等全てをUCLAの生徒が行っていました。また、ホームパーティーや誕生日パーティーにも参加しました。パーティーでは、定番のカードゲームやPCとスマホを使ったマルチプレイヤーゲームをやったり、英語でパーティーゲームをするのはとても難しかったのですが、日本ではやったことなかったゲームでとても貴重な体験ができました。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>準備しておくべきだったことにも書きましたが、私はもっと日本で語学力を高めておくべきだったと後悔しました。もちろん、渡航前は毎日、英語を聞いたり、明治の英語だけで行っている授業を他学部の授業を含め履修したりしていましたが、現地で授業を受けたり、友達とコミュニケーションをとっていく中で、もっと勉強しておけばよかったと感じました。日本で英語を勉強していると、どうしてもモチベーションが上がらなったり、現地に行けばなんとかなるだろうと考えがちですが、日本でできないことが現地に行くとできるようになることはないで、日本にいる時からコツコツと努力を積み重ねることが大切であると実感しました。</p> <p>また、やるかどうか迷ったら、とりあえず行動を起こしてみることが大切だと思います。私は留学して最初にとった授業で、現地生の友達を作ることができませんでした。自分の英語力にも自信がなかったですし、グループワークも少なく、きっかけをつかめずじまいでした。ですが、せつかくなら現地生と関わりを持ちたくて、ダメもとでUCLAの日本語を教えている教授にコンタクトをとって、language exchangeのようなことをできる生徒さんを紹介してもらえないか頼んでみました。そこで紹介してもらった現地生の友達とは、たくさん一緒に遊びましたし、今でもチャットを続けるくらい仲良くなることができました。あの時、勇気を出して教授にコンタクトをとって良かったと思います。行動1つでその後の状況が大きく変わることもあるので、迷ったらぜひ行動してみてください。</p> <p>もうひとつ私が感じたのは、日本人だけではなく、様々な人と交流するべきだと思いました。日本人を避けるというわけではなく、積極的に他の国の人と関わろうとする姿勢が大切だと思います。私はディズニーランドに中国人の友達8人と行ったのですが、同じ国出身でも出身地方は違うため、全員がマンダリンを喋れるわけではなく、共通言語は英語だったり、日本にいたら気付かないことに気付きました。色々な国の人と交流を持つと視野が広がると感じました。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中					予習・復習	友達と遊ぶ or 勉強	友達と遊ぶ or 勉強
	授業	授業	授業	授業			
午後	授業	授業	授業	授業			
夕刻							
夜	友達の家へ 行く		友達の家へ 行く				

